

令和7年度

R8.2.12

# 信州母子保健推進センターだより No.7

立春を過ぎ、暦の上では「春」となりましたが、まだまだ寒い日が続いています。今年度の業務のまとめ、来年度に向けた準備等でお忙しいことだと思いますが、体調には十分お気を付けください。

今回は、母子保健技術研修会Ⅱ、母子保健専門研修会Ⅱ、アレルギー疾患の最近の動向等についてです。



## … 母子保健技術研修会Ⅱを開催しました（1月15日）…

聴覚に関する正しい知識と乳幼児健診における聴覚検査のチェックポイントについてご講義をいただきました。

参加者（Zoom）：100人（保健師 96人 他 4人）

55所属（市町村 49 保健福祉事務所 6）

【理解度】4.4点（5点満点）

【満足度】4.5点（5点満点）

テ　ー　マ		講　師　等
講義 1	乳幼児健診における聴覚検査のポイント ～見逃さないために～	信州大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室 教授 長野県難聴児支援センター長 たくみ 工 穂 氏
講義 2	実践報告 相談支援から見えてくるもの	長野県難聴児支援センター 療育支援員 通澤 愛子氏

### 【工先生】

- 難聴児は出生1000人に1人の割合で生まれる。早期に発見、生後6か月以内に療育を開始することで、健常児と同等レベルの音声言語の獲得が期待できる。脳が音を受容するには臨界期がある。また先天性難聴の50%以上に遺伝子が関与。遺伝子検査をすることで、正確な診断、治療法の選択、予後の推測など早期療育のために重要な情報を把握することができる。
- 1歳6か月児健診では「名前を呼ぶと振り向く」「簡単な指示が通る」「声だけで反応する」について確認をして欲しい。
- 3歳児健診について、ここが最大の山場。健診における判定方法に基づき精密検査を勧める。発達の問題と考えられる児の場合も、聞こえの確認が大事。「様子見」で終わらせない勇気が大切。検査機関は、聴力検査ができる二次検査医療機関が望ましい。

### 【通澤先生】

- 成長の過程で聴力が低下することがある。集団生活の場で気づくこともあり、絵本や歌に興味がもてない（歌詞を正しく歌えない）、キヨロキヨロすることが多い（目で情報を得るので落ち着かない）など、日常の中での違和感を大事にとらえて欲しい。心配があれば、難聴児支援センターへ相談をするようつないで欲しい。

**Q1** 3歳児健診において、質問票・絵シートの他に聴力について確認できる方法があれば教えて欲しい

指こすり検査、を行ってみることも1つである。絵カードの理解が難しい場合、体温計の音やタイマーの音を使用して聞こえについて確認してみる方法もある

**Q2** 言語発達がゆっくりな児の場合、聴力の問題なのか、発達面の問題なのか、判断が難しい

迷ったら、聴力の検査を勧めて欲しい。聴力に問題がなければ、発達の問題、と捉えることができる



今回の研修会に併せて「3歳児健康診査における聴力検査に関するアンケート調査」を実施したところ、全77市町村よりご回答をいただきました。ご協力いただき誠にありがとうございました。アンケート結果につきましては、すでにメールにてお知らせしておりますので、ご確認ください。

今回の研修会では、早期発見、早期療育の重要性、判断に迷ったら「つなぐ」ことを優先、など健診の場で重要なポイントを改めて学ぶ機会になったと思います。健診に携わる職員の皆様の間で、ぜひ今回の内容を共有していただけますと幸いです。

情報提供



妊婦への「RSウイルス感染症の定期接種（母子免疫ワクチン）」について

定期接種が令和8年4月1日から開始。

対象者は、妊娠28週0日～36週6日の者。

接種記録は母子健康手帳に記録。

対象者に必要な情報が届きますよう、周知方法の検討等をお願いします。また里帰り出産を予定している妊婦で、接種を希望される場合についても対応をお願いします。



# ... 母子保健専門研修会Ⅱを開催しました（12月25日） ...

「母子保健活動における小児アレルギー疾患への対応」をテーマに、長野県立こども病院アレルギー科部長兼小児アレルギーセンター長 伊藤 靖典 先生にご講義をいただきました。

参加者（Zoom）：115人（保健師 84人 管理栄養士 27人 他 4人）

【理解度】4.7点（5点満点）

53所属（市町村 44 保健福祉事務所 7 児童相談所 2）

【満足度】4.8点（5点満点）

講義内容からの抜粋

- 食物アレルギーの原因食品が変化してきている。R6年において1～2歳では1位鶏卵、2位クルミ、3位牛乳である。
- スキンケアにおいて、泡ソープでしっかり洗うこと、シャワーなどで泡を完全に洗い流すこと、全身に保湿剤を塗ることが大事。保湿剤は普通のベビーローション等で可。オーガニック系（特にナッツ）の使用には注意が必要。
- アトピー性皮膚炎の炎症を完全に消すことはできない。ステロイド外用薬を使用し皮膚がつるつるの状態になった後も予防的にステロイド外用薬を使用すること（数日に1回など）が大事。きれいになっても治療中断をしないこと。
- 食物アレルギーの児がいた場合、①受診をしているか ②鶏卵、牛乳、小麦、大豆などが完全除去になっていないか、確認を。専門医に相談するよう指導を。
- 気管支喘息は、気管支にできたアトピー性皮膚炎。症状発現時だけでなく、日頃から治療継続しておくことが大事。

今回の研修会では、食物アレルギーの原因食品が変化していることなどアレルギーに関する最新の知識を学ぶ機会となりました。正しい情報を収集し、相談時に活用してください



## 情報提供 アレルギー疾患の最近の動向と啓発について

### ○最近の動向

アレルギー疾患の有病率は63%であり、花粉症に罹患している人が41.4%と最多、次いで通年性アレルギー性鼻炎31.2%、アレルギー性結膜炎22.3%となっています。※「アレルギー疾患の多様性、生活実態を把握するための疫学研究」研究班『2022年度 アレルギー疾患に関するアンケート調査 調査結果』より

アレルゲンも時代とともに変化しており、食物アレルギーにおいては、ナッツ類、特にクルミアレルギーが増えています。

### ○2月20日はアレルギーの日、2月17日～23日はアレルギー週間です

アレルギー週間にあわせて、信州大学医学部内科学第一教室等と共に、「信州アレルギー市民フォーラム2026」を以下のとおり開催します。

【日時】令和8年2月22日（日）14時～16時

【場所】信毎メディアガーデン（松本市中央2-20-2）

また、令和8年2月16日（月）～24日（火）に、松本駅東西自由通路で、アレルギー疾患やその対策等について、啓発ポスター・リーフレットを展示します。

だれでも参加、観覧可能ですので、一般の方にぜひご周知ください。

▼信州アレルギー市民フォーラム2026  
チラシ



### ○アレルギーポータルの活用

アレルギーの症状や治療方法、災害時の対応方法など、正しいアレルギーの情報が集約されていますので、ご活用ください。

<https://allergyportal.jp/>

### ○詳しい情報はこちら

「信州アレルギー市民フォーラム2026」について、詳しく知りたい方は下記URLから県ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shippeikansen/kenko/kenko/allergytaisaku.html#sassi>

お読みいただいたご感想・ご意見をお寄せください。お待ちしております。



長野県PRキャラクター「アルクマ」  
©長野県アルクマ

担当圏域	母子保健推進員	連絡先
佐久・上田・諏訪・伊那・飯伊	森 谷	長野県庁 疾病・感染症対策課 026-235-7141(直通電話)
木曽・松本・大北・長野・北信	秦	★電話受付時間：9時～16時30分

(令和8年2月信州母子保健推進センター発行)